

宮島沼保全活用計画(第3期計画)(素案)に寄せられた意見と市の考え方について
(パブリックコメントの結果)

1 意見募集の概要

政策等の題名	宮島沼保全活用計画(第3期計画)(素案)
政策等の案の公表の日	令和4年1月31日(月)
意見提出期間	令和4年1月31日(月)から令和4年3月1日(火)まで

2 結果の概要

提出された意見は、次のとおりです。

意見数(意見提出者数)	3件(3人)
インターネット	1件
ファクシミリ	件
郵送	件
直接持参	2件
無効な意見提出	件

3 提出意見の内容 3件(3人)

パブリックコメントコメントで提出された意見の内容とそれに対する市の考え方は、次のとおりです。

《総括表》

反映区分	意見の考慮の結果	件数
A	意見を踏まえ、政策等に反映したもの	
B	意見の趣旨が既に政策等に反映されているもの	1
C	意見を政策等に反映しなかったものの、今後の検討のために参考とするもの	2
D	その他(質問など)	

《具体的な内容》

No.	提出された意見の要旨	提出された意見に対する市の考え方	反映区分
1	貴市の総合計画に基づく施策としての位置付けから、整合性に影響しない範囲でと存じますが、宮島沼が美唄市民の生活を支える自然の恵みであることの重要性や希少性をより具体的に普及啓発される粘り強い取組みの位置付けが大事と考えます。	「目標2 宮島沼を活用した地域づくり」において、宮島沼の多面的な価値を観光や教育に活用する取組を進めることとしています。この目標の達成のため、施策⑧・⑨において、環境共生社会を担う人材を育てるための環境教育の実践やボランティア育成、各種取組の普及啓発活動を位置付け、着実な推進を図っていくこととしており、いただいたご意見も参考にしながら取組を進めて参ります。	B
2	1. 宮島沼の保全について、宮島沼の水源地は雨と融雪であります。 それに加えて、灌漑用水路の水をもっと利用して宮島沼に引き込むことで、宮島沼の水位を上げ宮島沼の保全環境に役立てる。 春には、マガンと他の鳥で多い時には、9万羽も飛来し、数日間宮島沼に滞在され、宮島沼の水質悪化に繋がっている。 マガンは、春より秋の飛来数が少ないが、出来る限り水位を保つ様にすることがWiseUseと思います。 2. 奇策がある訳ではないが、マガンの分散化を考えるべきである。 万が一の、伝染病の一種、鳥インフルエンザウイルス対策を考えると、種の保存のためには、分散化が求められる。 3. 美唄市の売りは、何と言っても「マガン」の飛来であります。 マガンの観察は、早朝のねぐら立ち・夕方のねぐら入りは、圧巻であるとPRしている。 そこで、マガンを展望出来る「展望タワー」などの設置を試みて、環境整備をし、全国からの集客を考える。	1. ご指摘のとおり、宮島沼では年々水面積が縮小し浅底化が進んでおり、こうした湿地環境の悪化は大きな課題の1つとなっています。水質の悪化と浅底化を招いている要因としては、周辺農地から農業用水とともに流入する土砂や栄養分もあげられます。 宮島沼の健全な湿地環境を再生し、渡り鳥の生息地として将来に引き継ぐために、保全再生の取組を施策③に位置付けていますので、ご意見も参考にさせていただきます。 2. マガンは国の天然記念物にも指定されており、宮島沼の価値を将来に引き継いでいくためにも、ご意見も参考にしながら、鳥インフルエンザ対策については関係機関との連携のもと適切に対応して参ります。 3. 宮島沼の多面的な価値を観光などに活用することは、「目標2 宮島沼を活用した地域づくり」に位置付けており、地域や自然環境に悪影響を及ぼすオーバーユースへの対応を進めながら、宮島沼を訪れる見学者へのサービス向上を目指すこととしていますので、ご意見は今後の取組の検討にあたって参考にさせていただきます。	C

《具体的な内容》

No.	提出された意見の要旨	提出された意見に対する市の考え方	反映区分
3	1. 分野4 施策⑧⑨ 学芸員の常駐 郷土史料館には学芸員が常駐していると きく。センターに、標本や剥製の扱いに長 けた学芸員を常駐させることはできないの か？ せっかくの施設なので博物館的な役 割も持たせたらどうか。	1. 及び2. 宮島沼水鳥・湿地センターは、保 全と賢明な利用を推進する中核的な施設とし て位置付けているところです(施策⑭)が、資 料の収集・整理、展示・活用等を主な職務と する学芸員の配置については、現在のところ 計画していません。 来訪者及びスタッフの安全にも配慮した、 安定的・効率的な施設の運営については、本 計画の推進に不可欠なものであると認識して います。 いずれにしても、ご意見は施設の機能 強化のあり方の一つとして参考とさせていた だきます。	C
	2. 冬季開館 地吹雪など悪天候の多い冬季は、週末や 祝日のみの開館にとどめ、平日は閉館し、 除雪等施設のメンテナンスのみにした方が 良いのではないかと。悪天候時に来訪者やス タッフがセンター往復時の事故に巻き込ま れるリスクを防ぐためにも。		
	3. 分野4 施策⑦⑧ 美唄市内からのア クセス改善 自家用車を持たない地元の美唄市民が、 市内からアクセスできないのは、市の管理 施設としてどうかと思う。せめてマガン飛来 期の週末に一日1往復だけでも市民バスを 運行できないか。学校が休みの日であれば スクールバスを流用できるのでは？ バス を使えば、親が送迎できない家庭の子ども たちも来訪できる。	3. 自家用車以外の交通手段の確保につい ては、第2期計画において取組項目に位置付 け、検討したところですが、ニーズが少ない といった課題もあり、具体的な施策の実施に は至りませんでした。しかしながら、第3期 計画においても見学者へのサービス向上を掲 げていることから、ご意見は参考とさせてい ただきます。	